

その手口はサギです！

# 特殊サギ被害にご注意を

県下被害額  
2億1,700万円

県内で特殊サギが多発しています。令和元年では県内で2億1,700万円の特殊サギ被害が発生し、市内でも1件100万円を超える被害が複数発生しています。また9月以降サギに関する相談も増えていることから、サギグループの動きが活発化している可能性があります。あなたの大切なお金を守るため、次のような手口に注意しましょう。

☎ 防災危機管理課 ☎ 21-2255

## 例1 市役所から「お金が返ってくる」と電話？ 市役所が電話でお金の話をすることはありません

「保険料26,000円を払い過ぎています。振り込むので銀行名と口座番号を教えてください。」と市役所を名乗り電話があったら、この電話はサギグループによるものです。市役所が電話でお金の話をすることはありません。お金の話が出たらサギと思しましょう。



## 例2 「事故を起こした」などと不安につけ込むオレオレ詐欺

「事故を起こして携帯電話を奪われた。示談金を払うまで監禁されている。暴行を受けて声がかすれている。すぐにお金を用意して。」突然このような電話を受けるととても不安になりますが、これはサギの常套手段じょうどうです。落ち着いて、まずは家族や警察に確認しましょう。



## 例3 警察・弁護士・裁判所からの電話、全てサギグループかもしれない

複数人で続けて電話をかけ、恐怖をあおる手口です。「警察です、捕まえた犯人があなたの銀行口座を使っていました。キャッシュカードを預かります。」「弁護士です、あなたに捜査が及ばないよう代役を立てるので手数料をください。」「裁判所です、代役が犯罪を犯したため、あなたが逮捕されます。保釈金が必要です。」全てサギグループの計画した電話です。このような電話はすぐに切りましょう。

## 奪われたお金は戻ってきません サギを水際で阻止するために大切なこと

- ①多額の現金を手渡さない 犯人は公園などで直接現金を受け取ろうとします。
- ②通帳、カードを見せない、触らせない、暗証番号を教えない 犯人は警察や銀行員、市役所職員を名乗り、家に来て預かろうとします。
- ③コンビニで知らないカードを購入しない 購入したプリペイドカードなどのお金を取られます。
- ④わからないATMの操作をしない 電話で言われたとおりに操作すると、犯人にお金を取られます。



## サギかもしれないと感じたら相談を

電話でお金に関わる話をされた、不審なはがきが届いた、パソコンやスマートフォンを見てお金を請求されたなど、サギかもしれないと感じたら、まずは相談しましょう。

家族に相談が難しい場合は、下記でもお話を伺います。

- ☎ 別府警察署(生活安全課) ☎ 21-2131  
別府市防犯協会連合会 ☎ 24-0958  
市防災危機管理課 ☎ 21-2255



## 特殊詐欺防止機能付き電話機などの 購入補助があります

補助上限 1万円  
(ただし購入額の3分の2まで)  
対象 満65歳以上の者のみの世帯  
であることなど  
※他の要件は市報6月号や市ホームページに掲載しています。詳細は防災危機管理課(☎21-2255)にお問い合わせください。